



# QUEST'S UNCHANGING QUEST

CNN 名物アンカー

## リチャード・クエスト

### ジャーナリズムの役割とは？

CNNで「クエスト・ミーンズ・ビジネス」や「ビジネス・トラベラー」といった番組のアンカーを務め、国際的な活躍を見せるイギリス出身のジャーナリスト、リチャード・クエスト氏。その個性的な声とキャラクターで人々に親しまれる同氏の来日に合わせ、EE編集部が独占インタビューを敢行。およそ45分にわたり、ジャーナリズムの在り方について熱弁をふるった。同氏のインタビューを、ダイジェスト版でお届けする。



ゲスト

**リチャード・クエスト**

CNNで経済アンカーを務め、独特の語り口と強いキャラクターで知られる人気ジャーナリスト。イギリス出身で、リーズ大学法学部卒業。ウォール街を拠点にBBCで活躍後、2001年からCNNに所属。ビジネス関連番組を担当するほか、チョコレート産業における児童労働問題など、幅広いテーマでの取材経験を持つ。1962年生まれ。



Listening Quiz

**64** 印象に残る『プレイボーイ』生みの親へのインタビュー

**EE** You've interviewed many leading figures in various fields. Of those interviews, are there any that stand out as especially memorable for you?

**Richard Quest** Lots—for instance, the Dalai Lama. And when the Dalai Lama put the silk scarf over my shoulder—that's a memorable event. I'll tell you one of the most interesting ones—a man called Hugh Hefner,\* the man who started *Playboy*. And the one thing about *Playboy* in the old days—yes, it had naked women, but it also had articles that were some of the best in the world. The journalism was absolutely superb. And he said to me, “We have a rule at *Playboy*: we won't interview anybody unless they guarantee us three hours, minimum”—because it's only after two or three hours that my guard\* falls and you start getting the real person. The interviewee's relaxed; you've built a rapport. It's not that you can trap them. It's not so that you can “gotcha”\* [them]. It's so that you start to see the real person. And it's only once people relax that you get that.

**EE** You've hosted the program *Quest Means Business* for many years.

**Quest** Sixteen years. What an amazing privilege—for 16 years, to be able to have this relationship with the viewer.

**EE** Do you have a particular approach to the topics of business and economics?

**quest:**

《タイトル》追求、探求

**leading figure:**

第一人者、著名人

**stand out:**

目立つ、際立つ

**memorable:**

印象的な、忘れがたい

**the Dalai Lama:**

ダライ・ラマ ▶チベット仏教における最高位の僧。ここではダライ・ラマ14世を指す。

**in the old days:**

かつての、昔の

**article:**

記事

**superb:**

素晴らしい、極上の、上質の

**guarantee A B:**

AにBを保証する、請け合う

**minimum:**

《数量表現の後で》最低でも

**real person:**

本当の性格、真の姿

**rapport:**

良好な関係、息が合う関係

**trap:**

～をわなにかける、だまして不利な状況に陥らせる

**host:**

(番組など)のホストを務める、司会をする

**business:**

①《mean business》《話》

真剣である、本気である

②実業、商業 ③(特定の)

業界(p.114) ④《話》こと、

事柄(p.114)

**privilege:**

名誉、特権

**have a relationship with:**

～と関わる、交流する

**approach:**

アプローチ、取り組み方

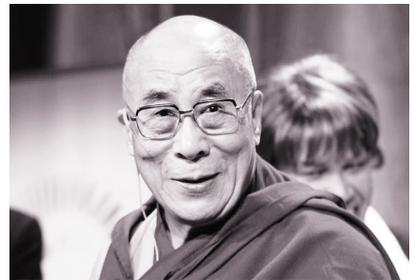
**EE** これまでさまざまな分野の第一人者に大勢インタビューなさっていますね。それらのインタビューの中で、あなたにとって特に印象に残っているものはありますか。

**リチャード・クレスト** たくさんありますよ。例えば、ダライ・ラマ。シルクのスカーフを私の肩に掛けてくれたとき——あれは忘れられない出来事です。そうそう、とびきり面白かった相手があります——ヒュー・ヘフナーという人物です。『プレイボーイ』誌を作った男でね。かつての『プレイボーイ』について1つ——確かに、裸の女性の写真も載っていましたが、世界最高と言っていい記事も載っていました。実に素晴らしいジャーナリズムでした。ヘフナーは私に言いました、「『プレイボーイ』にはルールがあってね。インタビューする相手には、最低3時間は確保してもらおう」と。なぜなら2、3時間たってからやっと警戒が解けて、本当の顔が見えてくるから。インタビューされる側がリラックスして、記者としっかり関係構築ができていくからです。わなにはめるといことではありません。「そこ、いただき」とやるためじゃない。本当の顔が見えてくるためです。そうなるのは相手がリラックスしたときだけです。

**EE** 番組『クレスト・ミーンズ・ビジネス』のホストを長年務めておられますね。

**クレスト** 16年。本当に名誉なことです。16年間も。こうやって視聴者と関わることができるなんてね。

**EE** ビジネスや経済というトピックを扱う上で特別なアプローチはありますか。



クレスト記者がその出会いを忘れられないというダライ・ラマ14世(上)と、『プレイボーイ』誌の生みの親であるヒュー・ヘフナー氏(下)

#### ☞ my guard

本来their guardと言うべき所だが、文の途中で「今、インタビューされる側の私のように」という考えにつられてmyと言ったと思われる。

#### ☞ “gotcha”

= I've got you. このgetは「～をつかまえる」という意味から「(不正などを暴くために)～をはめる」という意味に転じたもので、Gotcha!で「ほらバレたぞ」といった意味の表現。ここでは、gotchaを「～にぼろを出させる」という他動詞として使う例外的用法。